

情報公開（ホームページ掲載内容も含む）に関する同意書

2018年2月～2023年4月の間に順天堂大学医学部附属浦安病院眼科で 眼内レンズに起因した色素散布症候群に対して 眼内レンズ抜去と強膜内固定術を受けた患者さんへ

【過去の検査結果、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属浦安病院眼科では「眼内レンズに起因した色素散布症候群に対する強膜内固定術の12か月成績」という研究を行っております。この研究は、眼内レンズが原因である色素散布症候群に対する眼内レンズ抜去と強膜内固定術という治療の有効性を検討し、手術前の眼圧や眼圧下降の点眼薬や内服の使用の有無を比較検討することで、手術を行う適切なタイミングを検討することを目的としています。そのため、過去に強膜内固定術を受けた患者さんの検査結果、カルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは、眼内レンズ挿入眼で色素散布症候群による眼圧上昇を認める方で、2018年2月～2023年4月の間に眼科で眼内レンズ抜去と強膜内固定術を受けた方です。

- ・利用させていただく検査結果、カルテ情報、およびカルテ期間は下記です。

期間：2018年2月～2023年4月

研究対象者基本情報：年齢、性別、診断名など

視力、屈折値

眼圧、点眼

視野検査（Humphrey Field Analyzerを用いて評価）

術後合併症

細隙灯顕微鏡検査、隅角検査、前眼部OCT

この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。

- ・研究実施期間 倫理委員会承認日 ～ 2028年4月
- ・研究責任者 藤井 達也

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、眼科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の1(2)イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属浦安病院 眼科

電話：047-353-3111

研究担当者：藤井 達也